

脳神経内科

【診療科概要】

部長	中安 弘幸 (なかやす ひろゆき)
部長	下田 学 (しもだ まなぶ)
医師数	常勤医師 4名 非常勤医師 2名
資格等	総合内科専門医 2名、認定内科医 3名、指導医 1名 (日本内科学会) 日本神経学会認定神経内科専門医 2名 指導医 2名 日本リハビリテーション医学会認定 リハビリテーション科専門医 2名 指導責任者 1名 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 2名

鳥取県立中央病院 脳神経内科、後期研修（専攻医）のご案内の詳細情報についてはホームページをご覧ください。「鳥取県立中央病院 脳神経内科 研修」で検索してください。

【一般目標】

卒後初期臨床研修修了後の脳神経内科における後期研修プログラムとして、以下を目標として3ヶ月―3年の研修を行う。

1. 脳神経内科疾患の診断・治療についての基本的知識と診療技術の修得をする。
2. 脳卒中学の全般的な知識と技術を修得する。

【行動目標（内容・方法）】

日本神経学会認定委員会が定める専門医資格取得のための到達目標に準じて研修する。

1. 指導医のもとで5～10人の入院患者を主治医として担当し、入院から退院までに必要なすべての項目（インフォームド・コンセント、問診、検査、治療、各種書類の書き方）を指導医のもと立案施行する。
2. 患者および家族との適切な人間関係で対処する能力を実践する。
3. 外来診療においては、医療面接技能の確立、各種疾患の治療法、救急医療における初期治療を実践する。
4. 各脳神経内科専門分野からの指導により、最新の疾患概念、診断法、治療法を身に付ける。

【週間予定】

	朝	午前	午後	夕
月		外来診療	病棟診療	
火		外来診療	病棟診療	勉強会
水		外来診療	病棟診療	
木		外来診療	病棟カンファレンス、 病棟回診、症例検討会	
金	脳卒中カンファレンス	外来診療	病棟診療・病棟回診	

電気生理検査、神経筋生検、血管撮影など随時

【後期研修から、専門医取得、学位取得までの道筋】

当科では鳥取大学医学部神経内科と連携し、専門医、学位の取得が出来る一貫した研修を目指しています。以下にモデルコースを示します。

- ①最初の2年間は当科で脳血管障害、脳炎などの神経救急医療を研修。
- ②次の2年間は鳥取大学医学部脳神経内科にて神経変性疾患を含む神経内科研修+神経病理、神経放射線、神経小児、神経生物などの関連分野をローテート。
- ③大学では、専門医コースと大学院コースに分かれます。大学院コースは学位と専門医を取得後、留学、大学での臨床+研究を目指します。専門医コースは大学での研修の後、もう一度当院を含む鳥取大学神経内科の関連病院で、脳卒中、神経変性疾患、リハビリテーション、認知症について臨床経験をつみます。